

だいふく



地域福祉を推進する大分県社協 2012.10・11
大分社会福祉 No.170
<http://www.oitakensyakyo.jp/>



For your dream
 夢に向かって...！第32回大分国際車いすマラソン大会の開会式で、選手みなさんを応援しました。

特集 激甚災害を乗り越えて

Twitter facebook やってます。ぜひ登録をお願いします。
 この機関誌は、共同募金の配分を受けて発行しています。

- 第9回ボランティア・NPO推進大会4
- ふくしまっ子応援プロジェクト第2弾5
- あたたかさのみちしるべ6
- 健やか人生、きらめく生命6
- けんしゃきょうインフォメーション7
- 平成24年度前期各大会結果7
- 賛助会員8
- 善意銀行預託者8
- 社会福祉施設等経営支援セミナーのお知らせ8
- 今月のイチオン！商品！8
- きずな名鑑発刊のお知らせ8

大分社会福祉 だいふく No.170 発行／平成24年10・11月 発行・編集／社会福祉法人 大分県社会福祉協議会
 〒870-0907 大分市大津町2-1-41 TEL (097)558-0300 FAX (097)558-1635 Eメール info@oitakensyakyo.jp

賛助会員ご紹介【3～8月】

大分県社会福祉協議会では、本会の活動に賛同いただける「賛助会員」へのご加入をお願いしています。賛助会費は、県内の地域福祉活動支援のために使われています。
 ご加入いただきありがとうございました。(敬称略)

企 業 ・ 団 体		
(株)佐伯建設	公益社団法人 大分県理学療法士協会	
大分朝日放送(株)	大分県商工会議所連合会	
テレビ大分(株)	日本電通(株)	
(株)トータル保険サービス	JTB九州 大分支店	
(株)大分放送	トップツアー(株) 大分支店	
自立援助ホームふきのとう	明治安田生命 鶴崎北営業所	
日本電通(株)		
NPO法人 銀河鉄道	個 人	
大分県公立高等学校教職員組合	衛藤博文	河野千代子
(株)大宣	戸坂康秀	高橋 勉
東九州設計工務(株)	伊東雅人	梅木豊誌

善意銀行預託者【6～8月】

- パークプレイス大分株式会社
- 加藤和子
- 丹羽一誠
- 兼子厚子
- 三洋アルミ
- 九州納豆組合
- (株)大分フットボールクラブ (敬称略)

いただいた金銭・物品は、社会福祉施設や各種社会福祉活動に活用し、また、指定があった事業等に活用しています。ご協力ありがとうございました。

社会福祉施設等 経営支援セミナーのお知らせ

クレーム対応研修会

期日 平成24年10月24日(水)
 対象 職員全般

業務改善基礎研修会

期日 平成24年11月21日(水)
 対象 中堅職員

ヒューマンサービスカアップ研修会

期日 平成24年12月5日(水)
 対象 職員全般

職場内研修の手法研修会

期日 平成25年1月16日(水)
 対象 施設長、事務長、中堅職員

財務管理研修会

期日 平成25年2月6日(水)
 対象 施設長、事務長、事務員

リスクマネジメント研修会

期日 平成25年3月6日(水)
 対象 職員全般

※会場は全て大分県総合社会福祉会館、参加費4,000円(非会員6,000円)です。

今月のイチオン！商品！

「クッキー・チップス」&「手すき紙」

お菓子班では、むらさき芋やかぼちゃなどの野菜せんべいや、サクッとした口当たりで素朴な味のクッキーを作っています。

おからが入った焼かりんとうも好評です！手すき紙班では、牛乳パックと酒パックを再生利用した、環境に優しく、絵手紙に最適な「まごころハガキ」を仲間たちが1枚1枚丁寧にすいています。

毎日心をこめて作っているお菓子や手すき紙は、佐伯市内の道の駅、海の市場や大分市のわくわく館、県庁のパン屋さん等で販売しています。お店で見かけたら、ぜひ1度お手にとってみてください!!

***クッキー・チップス 各種100円**
***まごころはがき 480円**

その他にも商品がありますので、お問合せください。



お問い合わせご注文は **さつき園中江**
 〒876-0812 佐伯市中江町4番35号
 TEL(0972)24-0851

発刊のお知らせ

限定 2,000冊

きずな名鑑
 【大分県老人福祉施設総覧】
 発行・編集／社会福祉法人 大分県社会福祉協議会

特集 介護保険
 ふろく コンパクトルーペ

- 大分県の特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等300施設の詳細と地図データベース!!
- 介護保険事業所名簿
- 相談窓口一覧

巻頭図解付き!!

販売価格 **2,500円**
 (会員価格2,000円)
※別途送料がかかります。

お申し込み・お問い合わせは、
 【企画情報課】
097-558-0300 まで

激甚災害を乗り越えて

県社協の取り組み報告

7月、九州北部地域を中心に発生した豪雨災害では、県内でも日田、中津、竹田の3市が相次いで激甚災害に指定されるといって、50年に一度ともいわれるような甚大な被害が発生しました。堤防の決壊、河川の氾濫や土砂崩れなどにより、死者・行方不明者などの人的被害9名、住宅の全半壊等316棟、床上・床下浸水2,513棟、また、住民の孤立は最大時で318世帯841名に上りました。

この広域的な災害において、義援金や救済物資など皆さまの暖かいご協力をいただき、また、県内外から約9,600人の方々のボランティア活動により、被災地域の住民の日常生活を1日でも早く元に戻すための力強いご支援をいただきました。ありがとうございました。

県社協では、7月3日の集中豪雨発生後、直ちに災害支援対策本部を立ち上げ、救済物資の手配、情報収集・提供に務めることに、被災地の社協へ、災害ボランティアセンターの立ち上げや運営支援のためのスタッフを、県内市町村社協や全社協、九社連に呼びかけ派遣しました。

また、「災害支援ボランティアバス」を企画、計12台約400名のボランティアを現地の復旧支援に送るなど、職員一丸となって取り組みました。

行政との情報共有が大事

7月の豪雨災害を受け、8月28日、29日、大分市で災害ボランティアセンターの立ち上げや運営などに関する研究協議会を、市町村社協の会長、常務理事、事務局長に加え、県被災地民児協会長の参加のもと開催しました。

初日は「災害支援に向けて、社会福祉協議会が備えておくこと」について、大分大学の山崎栄一先生に講演いただき、「社協が行うべき防災教育」「災害対応に必要な知識」「障がい者など個人情報を取り巻く関係」など様々な角度から、社協が日頃から行っておく「備え」についてお話しいただきました。

続いて県社協が取り組み報告を行い、その後、今回特に被害の大きかった中津・日田・竹田市社協より「大規模災害における社協の支援活動」のテーマで、法人組織としての動きや災害ボランティアセンターにおける運営上・支援上の課題点などについて、実践報告を検証しながら意見交換しました。



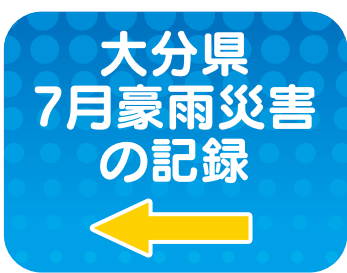
福祉施設も床上まで泥水が流入した



屋内の状況、泥水流入でめくれ上がった畳



この高さまで濁流が押し寄せた



災害ボランティアバスで約400人のボランティアを派遣



県内外から次々と集まるボランティアの皆さん



災害ボラセンに資材が届いた



災害ボラセン立ち上げに向けてのスタッフ会議



ニーズ班、被災者と支援者の重要な橋渡し役となる



現地での必要資材を受け取り、出発



「助けて」(ニーズ)の声を聞き現場を地図で確認



流木で埋め尽くされた川、欄干まで水が来た



重い畳出しをしてからが本格的な泥出し作業



庭に積み上がった土砂の高さは50cmをこえていた



道路に溜まった泥水を川へと流していく



「我々にまかせて」ボランティアチームが現場に到着した



活動を終え戻された資材を洗浄、明日に備える



泥の中から見つけ出した生活用品、ていねいに集められた



初対面の人同士の思いの入ったチームプレーで、次々と泥出しが進む



店舗全体が水没、商品の大半が流された

センター等運営スタッフの派遣

- 7月5日・13日に県社協職員が被災地に入り地元社協と運営協議。
- 7月5日・13日から県内社協に呼びかけ、連日県市町村社協より応援職員の派遣を継続し、センター等運営支援を行った。
- 7月5日～12日…日田市社協と中津市社協に、県内社協職員が毎日協力支援。日田市災害ボラセンに一部、県外社協から職員が協力来県支援。
- 7月13日～30日…日田市と中津市に竹田市が加わり、応援職員の派遣を継続し、センター運営支援を行った。
●県社協派遣職員数 延べ144名
●市町村社協協力職員数 延べ262名
(単独、個人支援者含まず)

大分県社会福祉施設等災害時相互応援協定

- 平成24年6月に県内社会福祉施設と締結した「大分県社会福祉施設等災害時相互応援協定」に基づき、応援支援を実施した。
7月3日の山国川の氾濫による中津市耶馬溪町の特養施設の床上浸水等の被害により、7月6日から5日間、協定に基づき、老施協の県北(近隣)施設を中心に延べ63名による復旧支援を行った。
- 7月14日に発生した山国川周辺の水害により、同施設が再び床上浸水等の被害を受け、同協定に基づき、老施協県北(近隣)施設に加え、別府、杵築地区に応援を要請し、7月16日から2日間で延べ42名の復旧支援を行った。
- 同じく、7月14日の水害発生により、中津市耶馬溪町の障害者グループホームが床上浸水等の被害を受け、協定に基づき県内障害者施設協議会会員施設に応援を要請し、7月18日から2日間で延べ53名の復旧支援を行った。

義援金、災害ボランティア支援金

- 義援金、支援金口座を開設し、被災地支援を呼びかけた。
- 義援金523,937円
 - ボランティア活動支援金1,800,000円(8月22日現在)
- なお、本会で取りまとめた義援金については、大分県が設置する「義援金配分委員会」を通じて県内の被災者に配分しました。

センター等運営資材・物資の手配・情報発信

県ボランティア・市民活動センターから、センター運営時の資材や物資の確保をはじめ、内外への情報発信を継続して行った。

九州ブロック社会福祉協議会(九社連)災害時相互応援協定

九社連災害時相互応援協定により、九州各県へ職員の派遣を要請・受入。竹田市災害ボランティアセンターに、7月21日から8日間に144名の派遣者受け入れ。

災害ボランティアバスの運行

- 7月18日から5日間、ボランティアバス「がんばろう日田号(中津号・竹田号)」を運行し、ボランティアの確保と県民への支援気風の醸成に努めた。
- 18日に日田市と中津市に各1台、竹田市に2台運行。以降は、ニーズの多い竹田市へ運行した。

運航日	日田市	中津市	竹田市	合計
7/18(水)	1台/39人	1台/40人	2台/67人	4台/166人
19(木)			1台/36人	1台/ 36人
20(金)			1台/35人	1台/ 35人
21(土)			3台/87人	3台/ 87人
22(日)			3台/95人	3台/ 95人
				12台/399人

社協と行政との連携不足により、災害情報を得ることに苦労した点、救援物資の受け入れに関して情報発信の工夫が必要な点などが課題として示されました。また、災害ボランティアセンターを運営するための職員研修や、災害時相互応援協定の必要性などの意見が出され、今後、社協全体で取り組んでいくこととしました。

「福祉避難所」への理解と設置推進に向けて

9月11日、iichiko音の泉ホールにて「福祉避難所設置推進講演会・パネルディスカッション」を開催、民生委員・児童委員や行政、福祉関係者など約330名が参加しました。

災害時、高齢者や障がい者など支援が必要な方を受け入れる「福祉避難所」について考えるため、東日本大震災の時、実際に福祉避難所の設置に当たった宮城県亘理町福祉課の佐藤貴氏が「一次避難所、二次避難所で起きたこと」福祉避難所の運営と課題について」というテーマで講演。当時の映像や写真を交えながら、避難所運営やその課題についての話がありました。

その後、佐藤さんや県内の福祉・行政関係者などでパネルディスカッションを行い、その中で、「福祉避難

所を広く周知することが大切」「指定数だけに捉われず、災害時本心に機能する福祉避難所にしていくべき」など、多くの議論が交わされました。

コーディネーターの大分大学教育福祉科学部の山崎栄一准教授は、「災害時の対応は、平常時にどれだけ備えてきたかで決まってくる。日頃から想像力を働かせ、準備をしておかなければならない」とまとめました。

現在、県内の福祉避難所指定数は228か所となっています（8月末）。厚生労働省のガイドラインに基づき、県内の小学校区数である314か所を目標に、今後も指定促進を行っていくとともに、9月下旬から順次実施している「施設間避難訓練」により、福祉避難所運営にあたっての問題、課題を検証していきます。



活発な議論が行われました



約330名が参加しました

「第9回ボランティア・NPO推進大会」開催しました

去る、8月26日佐伯市の佐伯文化会館にて、県と県社協、佐伯市社協の主催で、「共につくる支え合いのチカラ」を大会テーマに、県内のボランティア団体やNPO関係者ら約500人が参加しました。

午前中は、講師に映画作家の大林宣彦監督をお招きし、新潟県長岡市の長岡花火を題材にした映画にちなみ、「長岡映画を通して考える、日本の復興と再生、そして未来の子どもたちへ」と題し、「助ける人と助けられる人の思いがずれないように心をつなぐ活動をするのが大切」とご講演いただきました。午後からは、ボランティア活動事例発表として、移送ボランティア「わたぼうしの会」、青山女性百人会、企業ボランティア（株）トキハに、それぞれの活



動発表をいただきました。ボランティア活動の力や力は様々ですが、自分たちでできることを身近な人たちと協力して取り組むことの大切さを学ぶ大会になりました。

『来ちゃくれ！おおいたへ！！～山や海で探検しようよ～』実施しました！

福島第一原子力発電所の事故の影響で、現在も外で遊ぶ時間を制限された生活が続いている、福島県南相馬市の小学5年生23名と引率者2名を、7月23日～30日（6泊7日）の日程でご招待しました。

今回は、大分県の南部地域（津久見市、臼杵市、佐伯市）の山や海で思いきり楽しんでもらいました。

前回に引き続き、旅費等の費用は、このプロジェクトにご賛同いただいた県民のみなさまから寄せられた募金で運営されました。この活動にいろんなカタチでご支援・ご協力いただいた多くの皆さま、ありがとうございました。心より感謝いたします。

私たちは、今後も継続して福島の子どものために大分からできる支援を続けていきたいと思ひます。



夏ふくしまっ子 応援プロジェクト

第2弾

福島の子供達を大分へ招待しよう
実行委員会（事務局）
大分県ボランティア・市民活動センター



だいふくん

発売中

あまざけ

国産の米と米麹だけを使用して作ったあまざけです。ノンアルコールなのでお子様も安心してお飲みいただけます。

ノンアルコール 1本(900ml) 630円

お申し込み・お問い合わせ

社会福祉法人 大分県社会福祉協議会
〒870-0907 大分市大津町2-1-41

【企画情報課】
097-558-0300 まで

売上の一部を大分県7月豪雨災害・東日本大震災の義援金とさせていただきます。
DAIFUKUN AMAZAKE

障害者の権利擁護・地域生活定着支援セミナー

テーマ／地域生活定着支援や障がい者の権利侵害について考える
期日／平成24年12月9日(日)
会場／コンパルホール3階多目的ホール
基調講演／「立ち直りつつある少年たち～少年院の矯正教育の実際と福祉的支援～」
講師／白井健二氏(中津少年学院長)
参加費／無料
講演後、「少年の立ち直り支援」についての事例紹介を予定しています。

【お問合せ】
大分県地域生活定着支援センター
TEL:097-536-5105
大分県あんしんサポートセンター
TEL:097-551-0110

社会的養護関係施設 第三者評価機関の 認証得る

平成24年度から社会的養護関係施設(児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設、児童自立支援施設、情緒障害児短期治療施設)の第三者評価及び自己評価の実施が義務化されたことにともない、大分県社会福祉協議会「福祉サービス評価センターおおいた」は社会的養護関係施設第三者評価機関として認証(認証日:平成24年9月3日)を得ました。これにより、社会的養護関係施設の第三者評価が可能となりますので、対象となる施設におかれましては、本評価センターの受審をお願いします。

【お問合せ】福祉サービス評価センターおおいた TEL:097-558-1560

福祉ボランティアリーダー養成研修会(全5回講座)

第1回目…11月18日(日)
第2回目…11月19日(月)
第3回目…12月中旬頃
第4回目…25年1月28日(月)
第5回目…25年1月29日(火)
講師／石川 治江氏
(特定非営利活動法人ケア・センターやわらぎ代表理事)
受講料／無料
対象者／ボランティア活動実践者、福祉ボランティアリーダー養成講座受講者、ボランティア・市民活動に興味のある方
会場／大分県総合社会福祉会館 研修室

「NPO法人協働ボランティア体験講座」 竹垣つくりボランティア体験

期日／11月17日(土)
佐伯市米水津間越海岸の海亀の産卵環境を守るための防風垣をつくります。(NPO法人碧い海の会)
その他「各種体験講座」を企画中です!
【各種参加申込み・お問合せは】
大分県ボランティア・市民活動センター
TEL:097-558-3373
Mail:oitavoc@oitavoc.jp まで。
多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

げんしゃきよう インフォメーション

大分県総合防災訓練開催!

期日／11月11日(日)
大分県の主催により、佐伯市を拠点に、臼杵市、津久見市の3市で同日開催となります。
各市ごとに目的に応じた訓練を実施いたします。一般市民の方の参加できる訓練もあります。詳しくは、各市のホームページ等でご確認ください。

佐伯市
災害ボランティアセンター設置・運営訓練
臼杵市
避難所開設運営訓練・救援物資輸送訓練
自主避難訓練
津久見市
要援護者避難訓練

第8回 大分県身体障害者福祉センター フライングディスク大会

ご参加おまちしております!!
期日／平成24年11月11日(日)
10:00～13:00
会場／大分県身体障害者福祉センター 体育室
【お問合せ】
大分県身体障害者福祉センター
TEL:097-558-4849
FAX:097-558-0316

ようーいーん!!

社協@現場ツイート

あたたかざの みちしるべ



今日は、「ここここ広場 安児夢(あじむ)」の運動会。万国旗を吊るした児童館は、運動会ムード満点!いつもと違う会場の雰囲気、子どもたちは一気にハイテンション!「走る練習をさせて来ました!」という気合十分のお母さんも…
いよいよ競技が始まると、まだ日本語が通じない(笑)1、2歳児は、スタートラインに並べないし、3、4歳児は気に入って「もう1



回!」と何度もしたがるので、なかなか思うように進みません。大騒ぎしながらも、お母さんたちにも手伝ってもらって、大笑いの楽しい運動会になりました。
”ここここ広場 安児夢”は、宇佐市社会福祉協議会が実施する児童館型の地域子育て支援拠点事業です。毎回、7、8組の未就園児とお母さんが来館されます。
屋内の公園のイメージで、基本的には自由に遊んでもらっていますが、週に1回程度、子どもや子育てに関する講習会やリトミッ

ク、季節の製作、お母さんたちがお茶とスイーツをいただきながらの交流会”ここにこカフェ”を開催するほか、運動会や水遊び、クリスマス会など季節の行事も行っています。また、児童館を利用する小学生との交流も双方にとって楽しみのようです。
以前利用していた方で、お子さんが保育園に行っている間にお母さんだけがおみえになったり、二人目の出産でしばらくお休みしていた方が、生後2か月のまだ首もすわらない赤ちゃんを連れておみえになったりすることもあり、「子どもの遊びとふれあいの場」以上に、お母さん同士の交流の場としての期待の大きさを感じています。
今後、迷い悩みながら子育てをされているお母さんたちに、そつと寄り添える”広場”でありたいと考えています。
(宇佐市社会福祉協議会・飯國)



第27回サウンドテーブルテニス大会

平成24年7月1日(日)
★全盲の部
優勝 幸 和久
準優勝 高橋 勇

★弱視の部
優勝 豊武 憲十郎
準優勝 末綱 和孝

第10回卓球バレー大会

平成24年7月8日(日)
優勝 別府フラワーズA(別府市)
準優勝 チーム古賀委員長(別府市)
第三位 別府リハパワーズ(別府市)

第17回ふうせんバレーボール大会

平成24年6月3日(日)
★由布グループ
優勝 イミテーションゴールド(中津市)
準優勝 ゆけむり(別府市)
第三位 キャッツアイ(中津市)
★鶴見グループ
優勝 友愛エンジェル(別府市)
準優勝 美多明6(大分市)
第三位 ここのえB(九重町)

第4回車いすバスケットボール大会

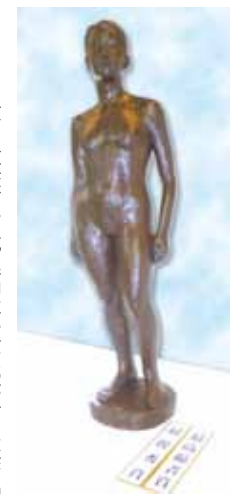
平成24年6月17日(日)
優勝 太陽の家スパーズ(別府市)
準優勝 O.W.B.C(大分市)
第三位 別府パシフィッククラブ(別府市)

平成24年度 大分県身体障害者福祉センター 前期各大会結果

第27回大分県社会福祉協議会長杯卓球大会

平成24年4月22日(日)

★会長杯の部
優勝 黒木 泰成(宮崎もくれん)
準優勝 小野 初夫(卓飲会)
第三位 衛藤 真理(春日クラブ)
★交歓の部
優勝 河野 伸(別府身障協)
準優勝 秋吉 暉夫(春日クラブ)
第三位 梅田 浩史(個人)



全国大会で宮城県知事賞を受賞した作品

また、7月に開催した「シルバー作品展」で最優秀賞を受賞し、今年全国で開催された「全国健康福祉祭宮城・仙台大会」に彫刻の部に出品した大分市清松武子さんの作品「時の流れ(チーちゃん)」が、見事、宮城県知事賞に輝きました。
9月23日、高齢者の健康と生きがいづくりの推進などを目的に「第23回豊の国ねんりんピック」を大分市大洲総合運動公園を中心に開催しました。
スポーツ部門15種目17競技、将棋など文化部門3種目に加え、登山など協賛イベントがあり、今年は最高齢選手男性96歳、女性91歳を筆頭に、約4,000名の選手が参加しました。
前日までの雨が上がり、当日は秋晴れで汗ばむほどの陽気になりましたが、選手はソフトボールやテニスなど、各競技でハツラツとプレーされていました。

健やか人生、 きらめく生命

